

国際文化会館 二夜連続特別プログラム

# 世界の原発政策を捉える

3.11 東日本大震災は、日本の原子力発電政策の大幅な再検討を迫っています。原発に対する懐疑的な反応が高まる一方、短期のエネルギー需給の問題に加えて、中長期的なエネルギー政策、環境政策にも大きな問題を提起しています。言うまでもなく、エネルギーは、経済活動の重要な基盤の一つであり、日本は、その必要とするエネルギー資源のほとんどすべてを海外に依存しています。供給の安定性の確保は、日本経済発展の基本的な前提です。また同時に、温暖化防止対策も求められています。本プログラムでは、内外の原発政策を専門とする方々にお話しいただき、これからの日本の原子力政策について、私たち一人一人が考えるきっかけになることを願っています。

第1回 **6/16** (木) 6:30 - 8:00 pm (用語：日本語)

テーマ 「福島原発事故の影響—原発事故に国境なし—」

講師：遠藤 哲也 (元IAEA 理事会議長 / 元原子力委員会委員長代理)

モデレーター：明石 康 (国際文化会館理事長)

第2回 **6/17** (金) 7:00 - 9:00 pm (日英同時通訳付き)

テーマ 「世界の原発政策の動向」

パネリスト：李志東 (長岡技術科学大学教授)

コルディエ・ピエール＝イヴ  
(フランス大使館原子力参事官)

鈴木 達治郎 (原子力委員会委員長代理)

E・ブルース・ハワード  
(米国大使館科学・環境・医療担当参事官)

コーディネーター：植田 和弘 (京都大学教授)

会場：国際文化会館

参加費：各回 1,000 円

(国際文化会館会員 無料) \* 要予約

主催：(財) 国際文化会館

## ご予約・お問い合わせ

国際文化会館 企画部 (月～金 9時 - 5時)

106-0032 東京都港区六本木 5-11-16

TEL: 03-3470-3211 FAX: 03-3470-3170

E-mail: [program@i-house.or.jp](mailto:program@i-house.or.jp) <http://www.i-house.or.jp/>

 財団法人 国際文化会館  
International House of Japan

